

KURASHIKI
ORCHESTRA

KURASHIKI
ORCHESTRA

28th Regular
Concert

倉敷管弦楽団第28回定期演奏会
2002.5.26.sun  倉敷市民会館
午後 2:30 開演 (午後2:00開場)

主催:倉敷管弦楽団 共催:倉敷市文化連盟 後援:倉敷市、NHK岡山放送局、山陽放送、岡山放送、KSB瀬戸内海放送、岡山県郷土文化財団 (順不同)



倉敷管弦楽団

団長 田辺幹夫

演奏が終わると盛大な拍手が起こり、時には「ブラボー」と声がかかる――。

どこでもいつでも見られる演奏会風景ですが、

拍手とは本来は「感動した」「よくやった」という気持ちを表すものであるはずで、

演奏の出来不出来によって拍手の大きさも変わるべきではないかと思えます。

ヨーロッパあたりでは拍手どころかブーイングが出ることもあるそうで、

それだけ演奏者にきびしい目が向けられているということでしょう。

私達倉敷管弦楽団は今年指揮者に牧村邦彦氏、

ヴァイオリン独奏にアナスタシア・チェボタリョワさんをお迎えして、

今日の日のために一生懸命練習を重ねて来ました。

私達の演奏がもしお気に入られましたら盛大な拍手をお願い致しますと共に

今後ご声援をよろしくお願い致します。

本日のプログラム

ベルリオーズ:序曲「ローマの謝肉祭」Op.9

チャイコフスキー:ヴァイオリン協奏曲ニ長調 Op.35

～休憩～

チャイコフスキー:交響曲第6番「悲愴」ロ短調 Op.74

曲目解説

ベルリオーズ:序曲「ローマの謝肉祭」Op.9

■ベルリオーズは金管楽器の拡充による管弦楽の新たな魅力・色彩感を提示したフランス最初のロマン派音楽提唱者です。彼は古典的和声の原理にとらわれず、それまで禁じられてきたコード進行や全く新しい旋律を開拓し、「標題音楽」により自分の内面のあからさまな告白を音楽に託しました。この手法は後のリストの交響詩やワーグナーの楽劇への道を開き、古典主義音楽に対する革命といわれました。■ところが彼の手法はあまりにも当時の正統な作曲法から離れていたため、当時は一部の人々を除いて、一般の聴衆には受け入れられませんでした。■序曲「ローマの謝肉祭」は、もともと歌劇「ベンヴェヌート・チェルリーニ」の第2幕の前奏曲として計画されましたが、歌劇自体は成功せず、上演はあまりされませんでした。しかし、序曲の内容が第1幕の終わりに出てくるイタリアの活発なサルタレロ舞曲を中心に繰り広げられる華やかな性格が強かったため、後に独立曲として出版され、演奏会用音楽として広く大衆に普及するようになりました。■数小節の熱気のコもった序奏の後、歌劇で歌われた「愛の二重奏」がさまざまな楽器に乗り移り、豪華な舞踏を彷彿させる民俗舞曲が奏でられます。やがて全楽器がひたすら上昇し、高揚していった、サルタレロの爆発的クライマックスへ向かいます。■「幻想交響曲」が有名なベルリオーズですが、この曲からも彼が素晴らしい旋律を生み出せる才能と、想像力、色彩に対する比類なき耳の持ち主だったことがうかがえます。楽器に対しては全くの素人だったベルリオーズが、当時まで想像もされなかった規模の音の組み合わせをつくる才能をもっていたことは、極めて天才的なことと思います。

チャイコフスキー:ヴァイオリン協奏曲ニ長調 Op.35

■1840年生まれチャイコフスキーは1877年からメック夫人より毎年6000ルーブルの年金を贈られることになり、ジュネーブへ療養に赴きました。この時、チャイコフスキーは第4交響曲と歌劇「エフゲニー・オネーギン」を完成させました。その後1878年の4月に友人のコテックというヴァイオリニストがロシアから訪れてきて、しばらく滞在した際にチャイコフスキーはこの協奏曲を作曲しました。ラロのスペイン交響曲(スペインの旋律を使ったヴァイオリン協奏曲)に刺激を受けて、この曲を作ったとも言われています。■この協奏曲は、今日ではヴァイオリン協奏曲のなかでも、最も演奏されることが多い曲となっていますが、初めはとても評判が悪かったようです。曲の完成後にメック夫人に楽譜を送りましたが、チャイコフスキーの偉大さを認めていた夫人もこの曲は賞賛しませんでした。またチャイコフスキーは当時ロシアで最も偉大なヴァイオリニストであったレオポルド・アウアー(当時ベテルスブルグ音楽院教授で宮廷音楽家)に楽譜を送り、彼に献呈し、初演してもらおうと考えていましたが、アウアーは楽譜を調べるなり「演奏不可能だ」と言い放ちました。そのため、この曲はベテルスブルグでは発表できなくなり、プロズキーというヴァイオリニストが、1881年のウィーン・フィルハーモニー管弦楽団の演奏会で初演しました。しかし、その時指揮をしたハンス・リヒターはこの曲に気がせず、楽員たちもこの曲を嫌ったためひどい演奏となり、聴衆もそっぽを向き、有名な音楽批評家のハンズリックも酷評したそうです。

About Today's Program

Kurashiki Orchestra Regular Concert 28th

曲目解説

チャイコフスキー:交響曲第6番「悲愴」ロ短調 Op.74

■「私は現在、新しい曲の仕事に没頭している。もはやこの筆を止めることはできない。きっとこれは、自分の最高傑作になるであろう」ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー(1840~1893)は、1893年3月、弟モデストへ宛てた手紙にこう書きました。さぞかし祝典的な大作と思いきや…出来上がったのは、この暗く悲哀に満ちた交響曲でした。■このチャイコフスキー最後の交響曲は、一般的に「悲愴」という表題によって知られています。普段あまりなじみのないこの言葉の意味は、広辞苑によると「悲しく愴(いた)ましい気持ち」とされています。確かにこの曲はある種重苦しく、悲しい雰囲気につつまれてはいますが、1楽章の激しいアレグロや3楽章のマーチなどはむしろそのような「悲しく痛ましい」といった暗鬱なイメージとは全く逆に感じられます。■このようなイメージの異なるものとして、次のような解釈があります。“日本語で「悲愴」と訳されているロシア語のパテティーチェスカヤという単語には、ロシア語の辞書を引いても「悲愴」という意味は出てきません。”(森田稔『新チャイコフスキー考』)■この本の叙述に従ってロシア語の辞書でこの語を探すと、(pateticheskaya/熱情のこもった、熱情的、感動させる、人の心を動かす)とあり、ロシア語で書かれた原題には「悲愴」かそれに近い意味すらないことがわかります。これが仏訳されると、(悲壮な、強く感動させる、悲痛な)といったフランス語の意味と重なってきます。ここでこの表題はベートーヴェンの「悲愴ソナタ」(la Pathétique)と同じ単語によって表示されることとなります。和訳に際してこのどちらかが「悲愴」となってしまったのも、無理のない話です。■原語の「熱情的」「感動させる」といった意味あい、これまでの彼の死の影ばかりが付きまとう「悲愴」という言葉とはかなり違ったイメージを与えます。この曲の標題(テーマ)については彼自身が「すべての人にとって謎となるだろう」と語ったように正確なところはいまだ不明ですが、以上を考慮するとこの曲は死を間近に控えた虚無感などというものを表現したのではなく、むしろ人生の苦しみや悲哀、惨めさ、やるせなさ、あるいは喜びや陶酔といった人間感情のさまざまな心象風景を、それぞれに描き出していると考えられます。■チャイコフスキーは第4番からの後期交響曲を通じて人生一般における内面的闘争を、また彼の生とその苦悩を表現したとされますが、この第6交響曲はその一連のテーマに対する1つの解答とも考えられます。それは彼が熱心にこの曲に取り組み、「最も優れた作品」として自信をもって世に送り出したことからもうかがえます。

□第1楽章 Adagio (ゆっくり)~Allegro non troppo (快速に、速すぎず)

冒頭、コントラバスの弾く空虚な和音に続いて、ファゴットが重苦しいテーマを奏します。テンポはやや速まり、ヴァイオリンとチェロによるテーマが不安定に展開し、オーケストラ全体へと波及していきます。主部のテーマは弦楽器による、ため息のような下降音型で始まります。昔を懐かしく思出すようなフルートの明るい旋律が瞬現れ、弦楽器を経てクラリネットとバスクラリネット(本来の指定はファゴットですが…)の孤独なソロが消えると、間髪を入れずに激しい展開部へと突入します。今度はオーケストラ全体で冒頭のテーマが回帰し、強奏のままクライマックスを迎えますが、今度は少しずつ冷静さを取り戻してきます。そして、全てを悟りきったような管楽器のコラールで静かに終わります。

□第2楽章 Allegro con grazia (快速に、優雅に)

チャイコフスキーは前作・第5番に続き、交響曲の中にワルツを挿入しました。5拍子というロシア特有の複合拍子です。中間部では短調に転じ、死の恐怖にも似た憂鬱な空気が立ち込めます。やがて徐々に気を取り直して元通りのワルツに戻りますがやっぱり5拍子、踊れないもどかしさは変わりません。鐘の音が遠くから響き(管楽器による下降音型のコラール)、舞踏会は終わって皆は三々五々帰り始め、最後は一人寂しくため息だけが残ります。

□第3楽章 Allegro molto vivace (快速に、非常に活き活きと)

12/8拍子のスケルツォ(舞曲)と4/4拍子の行進曲が、絶えず交錯する楽章です。ここで前半楽章の憂鬱を一気に吹き飛ばし、生命を謳歌します。街中の喧騒のような弦楽器の3連符に乗って、テーマの断片がオーケストラのあちこちから聞こえてきます。やがて旋律の全容が2本のクラリネットで示され、パワーを増しながらオーケストラ全体に広がり、ついには力強い大行進曲へと発展します。全4楽章の中で唯一、勝利を予感させる輝かしい楽章ですが、実はラスト10小節間で音はどんどん下降していき、結局フルート・ピッコロやトランペットといった華やかな響きを掌る高音楽器部は沈黙してしまうのです。

□第4楽章 Adagio lamentoso (ゆっくり、悲しみをもって)

そして遂に、ここで審判は下されました。悲哀感、もはやどうしようもない「絶望感」へと姿を変えます。弦楽器の咽ぶような下降音型に始まり、(作曲者はここで、第1ヴァイオリンと第2ヴァイオリンで旋律を1音ずつ弾かせることにより途切れ途切れに聞こえさせる、という細工を施しています)不整脈のようなリズムがホルンから聞こえ始めると、絶望感はいよいよ頂点に達し、激しい号泣となります。タムタム(銅鑼)がこの世との別れを告げると、演奏している楽器がどんどん減り始め、最後はチェロとコントラバスだけが残り、静かに、重苦しく全曲が締めくくられます。

■チャイコフスキーは、この初演のわずか一週間後に亡くなります。死因については、当初は生水を飲んだためコレラに感染したと伝えられていましたが、エイズ説や自殺説もあり、定かところはわかりません。そして死の数日後に行われたモスクワ初演は、奇しくもチャイコフスキーの追悼演奏となってしまいました。とりわけ遅いテンポで終楽章が演奏されている間中、客席のあちこちからすすり泣きや嗚咽が聞こえ、最後の低弦が鳴り止んだあとも、誰一人拍手せず、余韻が遠のいたあとも静寂が続きました。そしてこの時、誰もが疑いなくこの曲の真価を認めたのです。■この曲と彼の死に際した一連のドラマとの関係を思えば、日本語訳の「悲愴」という言葉が逆に原語を超えた意味深さを持っているように思えてきます。

CHACONNE

DEALERS OF FINE VIOLINS

夢奏でる

シャコンヌでは、楽器をはじめケースや部品などを直輸入し、当社の優れた技術で修復、調整の上お客様に大変お求めやすい独自のシャコンヌ・プライスでご紹介しております。高額の楽器、弓に対しては可能な限りの責任を意味する当社の鑑定書を発行し、買い取り・下取りを保証しております。東京海上の保険代理店として万一の事故、盗難に備えた動産総合保険をサービスいたします。また、関連会社カノンでは演奏会・コンサート等においてご利用いただける最高級名器をリーズナブルな料金にてレンタルいたします。お気軽にお問い合わせ下さい。

(株)シャコンヌ

楽器直輸入・修理、調整
楽譜・鑑定・楽器保険
ビジュアル販売代理店
楽器レンタル

株式会社シャコンヌ

【名古屋店】	TEL 052-241-1779
【金沢店】	TEL 0762-21-1779
【東京吉祥寺店】	TEL 0422-23-1879
【九州小倉店】	TEL 093-531-2672
【札幌店】	TEL 011-221-2561

営業時間 10:00~18:30 日・月定休



指揮
牧村 邦彦
Kunihiko Makimura

大阪芸術大学を卒業後、ウィーン国立音楽大学指揮科にてO・スイットナー、T・C・ダヴィット各氏に師事。バーデン市立劇場で研鑽を積む。京都市交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、広島交響楽団などの客演を重ね、'91年大阪シンフォニカーの指揮者に就任。セントラル愛知交響楽団、九州交響楽団でも指揮。コンチェルトのエキスパートとして定評が高く、園田高弘賞ピアノコンクールの本選演奏でも審査員各氏から多大な信頼を得た。特にオペラ指揮者としての活動が著しく、関西二期会、ザ・カレッジオペラハウスを中心として活動。その間'94～'99年オペラハウス合唱団専任指揮者として『金閣寺』をはじめとする多数の公演に携わり、オペラハウス管弦楽団とも数多く共演する。'94年渡米、ソングオペラハウス(オハイオ)、ホワイトウォーターオペラ(インディアナ)で『コシ・ファン・トゥッテ』を指揮、絶賛される。2000年、自身のプロデュース・指揮による大阪シンフォニカー定期演奏会での、ミラノ初演版をもとにしたオリジナル版『蝶々夫人』の公演が大阪文化賞を受賞。現在、新国立劇場、北海道二期会、札幌オペラスタジオ、名古屋二期会、名古屋オペラセミナー、四国二期会、西日本オペラ協会など日本各地のオペラ団体と関わりをもつ。他に長い歴史を持つ吹奏楽団、大阪市音楽団とも密接な関係にある。



ヴァイオリン独奏
アナスタシア・
チェボタリョーワ
Anastasia Chebotareva

1972年、ロシア・オデッサに生まれる。6才よりヴァイオリンを始め、1991年、モスクワ中央音楽学校卒業。1996年、モスクワ音楽院卒業、1998年同音楽院大学院修了。8才の時、ヤンケレーヴィチの流れを汲むヴァイオリンの名教授イリーナ・ボチコーヴァ女史に才能を見い出され、以来女史のもとで研鑽を積んできた。17才でバガニーニ国際コンクールに入賞し、国際的なデビューを果たした。その後ヨーロッパやアジアでツアーが成功をおさめ、1990年にはロンドンのBBC放送にて放映された。1991年ヨーロッパのユベントス国際音楽祭に入賞。1992年ルドルフ・リビツァー国際コンクールに優勝。そして1994年、第10回チャイコフスキー国際コンクール・ヴァイオリン部門で最高位に輝く。以来、各国で精力的な演奏活動を展開。ロシアやヨーロッパの数々の主要なオーケストラに招かれ、V.フェドセーエフ指揮チャイコフスキー交響楽団(旧モスクワ放送交響楽団)、Y.テミルカーノフ指揮サンクト・ペテルブルク・フィルハーモニー管弦楽団、M.ゴレンシテイン指揮“Young Russia”交響楽団、ウィーン室内管弦楽団などと共演。モスクワ・フィルハーモニーのソリストとしても活躍している。2000年4月、くらしき作陽大学「モスクワ音楽院特別演奏コース」ヴァイオリン専修特任教授に就任。現在は、倉敷とモスクワを拠点として、世界中で演奏活動を行なっている。

倉敷管弦楽団

「美しい音色とよいアンサンブルで質の高い演奏を」を合言葉に昭和49年設立の、文化都市倉敷にふさわしい若さと熱気に満ちた楽団です。昭和57年には岡山県文化功労賞、昭和60年には倉敷市文化連盟賞を受賞しました。

定期演奏会では、これまで客演指揮者に早川正昭氏、フォルカー・レニッケ氏、堤俊作氏、古谷誠一氏、金洪才氏、佐渡裕氏、星出豊氏、田中一嘉氏、田中良和氏、小出雄聖氏、増井信貴氏、小田野宏之氏ら、フルートでは世界的巨匠ジャン・ピエール・ランバル氏、ヴァイオリンのイヴリー・ギトリス氏、和波孝禧氏、前橋汀子氏、影山誠治氏、漆原啓子氏、天満敦子氏、ピアノの深沢亮子氏、伊藤恵氏、花房晴美氏、チェロの岩崎洸氏、安田謙一郎氏、山崎伸子氏、オーボエの茂木大輔氏、トランペットの津堅直弘氏、ホルンの松崎裕氏、ギターの福田進一氏らを招聘。また岡山県内で活躍している演奏家との共演も数多く行っています。

演奏曲はバロックから現代曲まで幅広く、團伊玖磨氏作曲「管弦楽のための高梁川」小六禮次郎氏作曲「瀬戸内讃歌」を初演。オペラではモーツァルト「魔笛」、「フィガロの結婚」、「コシ・ファン・トゥッテ」、ビゼー「カルメン」、J.シュトラウス「こもり」、フンパーディング「ヘンゼルとグレーテル」、プッチーニ「蝶々夫人」等を演奏。

創立10周年記念演奏会では400名から成る第九演奏会、15周年では「三枝成彰with倉敷管弦楽団スーパードリーム・ジョイントコンサート」、20周年ではイヴリー・ギトリス氏、岩崎洸氏との「コンチェルトの夕べ」を開催しました。倉敷音楽祭へも毎年のように出演し、ミュージカル「11匹のネコ」、ヘンデル「メサイア」、プッチーニ「ラ・ボエーム」その他を演奏し、今年は團伊玖磨作曲の「夕鶴」を演奏しました。

今後の演奏会予定

- 9月16日(月・祝) 岡山県郷土文化財団主催地方演奏会／玉島文化センター
- 10月5日(土) 三船文彰、岩崎洸、佐藤价子 協奏曲の楽しみⅢ／岡山シンフォニーホール
- 11月17日(日) 管弦楽とコーラスによるふるさと賛歌／倉敷市民会館

倉敷管弦楽団 団員募集

- 定例練習日 毎週月曜日 午後7:00～9:30
- 練習場所 倉敷市文化交流会館
- 団員資格 オーケストラ経験者で、練習・演奏会に参加できる人
- 募集パート 全パート

お問い合わせは…
田辺幹夫／TEL.086-263-3521
菊池 東／TEL.086-522-5145
http://www1.harenet.ne.jp/~a_tempo/orch/

Performers

Kurashiki Orchestra Regular Concert 28th

出演者

主な演奏会記録

History of Concert

Kurashiki Orchestra Regular Concert 28th

団長/田辺 幹夫 常任指揮者/菊池 東
 ソロコンサートマスター/佐藤真理子 コンサートマスター/阿曾沼和代 アシスタントコンサートマスター/岡崎 良弘
 運営委員長/岡崎 良弘 運営委員/原田 宗範 運営委員/木村 啓子 運営委員/竹村 知子

<i>Violin 1</i>	佐藤真理子 木村 啓子 藤田 真理	◎阿曾沼和代 小林 佐知 藤原 智洋	岡崎 良弘 陶山 靖彦 柳井 典子	赤木 信子 千田 美幸	鮎浦 良和 出宮 治子	大森 彩子 平松 鏡子
<i>Violin 2</i>	◎日笠 京子 尾崎 夏栄 平野 知子	井上 雄史 杉原 公子 平松 綾	井上真由美 樽谷 美幸 丸山 博樹	上原 保美 土井由貴子 三宅 郁子	大村 奈美 中塚えりか 村上 節美	岡崎 将丈 芳賀加英子 頼光 周平
<i>Viola</i>	菊池 東 新見 由枝	◎武本 克己 松江 靖子	井上 麻里 三宅美智子	岩瀬 裕子 八木原周平	小寺 陽子 山根 徳美	中村佳央理
<i>Violoncello</i>	◎栗木由美子 中田 裕人	石川 恵子 西田 毅雄	黒田 正典 平松 真弓	田中 光子 光延 勢吾	田辺 幹夫	辻田 順子
<i>Contrabass</i>	◎本屋敷勝信 ※佐川 裕昭	羽原 佳子	平松 博之	松本 高広	※片山 夏樹	※小林 利江
<i>Flute</i>	◎坂井 昌子	市瀬 純子	月本 裕子	宮尾 紀子		
<i>Oboe</i>	◎細美 肇	西村 生子	瀬尾 祥治	吉田 容子		
<i>Clarinet</i>	◎齋藤 美保	秋田由紀子	福島 恭子	※大尾 聡		
<i>Fagotto</i>	◎稲田 裕彦	中川 佳己	※坂上 仁志			
<i>Horn</i>	◎文谷 功 ※宇野 敏生	熊澤 和美	江口 哉子	大島 賢治	加藤 友美	吉市 幹雄
<i>Trumpet</i>	◎原田 宗範	小西 麻世	山口 裕司	山口 博子		
<i>Trombone</i>	◎松尾 浩寿	樋口 仁	曾布川拓也	原 健	光井 伸行	
<i>Tuba</i>	※岸田 講					
<i>Percussion</i>	◎影下 明子	高尾 暢子	羽野 浩二	※井上 充隆		

◎パートリーダー ※客演

S50.12.8

第1回定期演奏会

指揮/菊池 東
 ヘンデル/合唱協奏曲Op.6・10
 ヴィヴァルディ/協奏曲集「四季」より<春><夏>
 バッハ/カンタータBWV202、
 ブランデンブルク協奏曲第4番
 小山清茂/弦楽のためのアイスの歌

S51.11.16

第2回定期演奏会

指揮/早川 正昭 チェロ/山崎 伸子
 ヴィヴァルディ/2つのトランペットのための協奏曲
 バッハ/ブランデンブルク協奏曲第1番
 レスビーギ/リュートの為の古代舞曲とアリア第3組曲
 ボッケリーニ/チェロ協奏曲変ロ長調

S52.9.24

ランバルと管弦楽の夕べ

指揮/早川 正昭 フルート/ランバル
 テレマン/フルト協奏曲二長調
 モーツァルト/フルト協奏曲第1番長調 その他

S53.1.8

第3回定期演奏会

指揮/フォルカー・レニツケ
 ヴァイオリン/和波 孝福
 ヘンデル/水上の音楽(ハレ版)
 モーツァルト/ヴァイオリン協奏曲第3番
 ドボルザーク/弦楽セレナーデホ長調

S53.11.3

ゴールドブレンドコンサート

指揮/石丸 寛 ゲスト/雪村 いずみ
 映画音楽集/ウエストサイド物語・序曲
 ロッキーのテーマ
 スターウォーズのテーマ 他

S53.12.10

第4回定期演奏会

指揮/菊池 東 ピアノ/深沢 亮子
 フリデン/シンブルシンフォニー
 バッハ/2つのヴァイオリンのための協奏曲二短調
 モーツァルト/交響曲第38番二長調
 モーツァルト/ピアノ協奏曲第20番二短調

S54.7.15

特別演奏会

指揮/根本 辰郎 ヴァイオリン/水島 愛子
 ヴィヴァルディ/ヴァイオリン協奏曲イ長調
 シューベルト/交響曲第8番短調「未完成」
 ベートーヴェン/ヴァイオリン協奏曲二長調

S54.12.9

第5回定期演奏会

指揮/菊池 東 チェロ/安田謙一郎
 モーツァルト/交響曲第40番ト短調
 ハイドン/チェロ協奏曲第2番二長調
 ベートーヴェン/交響曲第1番ハ長調

S55.5.31

「管弦楽の為の高梁川」初演発表会

指揮/團 伊玖磨 菊池 東
 ワーグナー/
 「ニュルンベルクのマイスタージンガー」前奏曲
 モーツァルト/交響曲第38番二長調「プラハ」
 團伊玖磨/管弦楽の為の高梁川

S55.12.7

第6回定期演奏会

指揮/堤 俊作
 オーボエ/ディーテラム・ヨナス
 ヘンデル/合奏協奏曲Op.6-6
 モーツァルト/オーボエ協奏曲ハ長調
 ドボルザーク/交響曲第9番短調「新世界より」

S56.6.9

第7回定期演奏会

指揮/早川 正昭
 モーツァルト/ディヴェルティメント二長調
 ピゼー/[アルルの女]第2組曲
 ベートーヴェン/交響曲第7番イ長調

S56.9.23

ゴールドブレンドコンサート

指揮/石丸 寛
 オーボエ/小島 葉子
 ソプラノ/中沢 桂
 レスビーギ/交響詩「ローマの松」
 チマローザ/オーボエ協奏曲ハ長調
 ヴェルディ/[アイダ]より凱旋行進曲 他

S56.12.13

二期会中・四国支部オペラ公演

指揮/古谷 誠一
 モーツァルト/「魔笛」

S57.6.6

第8回定期演奏会

指揮/古谷 誠一
 ベートーヴェン/[エグモント]序曲
 モーツァルト/交響曲第41番ハ長調「ジュピター」
 スメタナ/
 交響詩組曲「わが祖国」より(高い城)〈モルダウ〉

S57.12.13

倉敷管弦楽団岡山演奏会

指揮/菊池 東 ピアノ/田中 いつみ
 モーツァルト/セレナーデ第9番「ポストホルン」
 シューマン/ピアノ協奏曲イ短調
 ドボルザーク/交響曲第8番ト長調

S58.4.30

ゴールドブレンドコンサート

指揮/石丸 寛 ヴァイオリン/前橋 汀子
 チャイコフスキー/
 「くるみ割り人形」より(花のワルツ)
 ヴァイオリン協奏曲二長調
 交響曲第5番ホ短調

S58.10.6 S58.10.16

二期会中国支部オペラ公演

指揮/古谷 誠一
 モーツァルト/「フィガロの結婚」

S58.12.11

第9回定期演奏会

指揮/湯浅 卓雄
 ヴァイオリン/豊田 弓乃
 モーツァルト/「フィガロの結婚」序曲
 メンデルスゾーン/ヴァイオリン協奏曲ホ短調
 ベートーヴェン/交響曲第3番変ホ長調「英雄」

S59.6.2

玉島文化センター落成記念コンサート

指揮/菊池 東
 スッペ/「詩人と農夫」序曲
 團伊玖磨/管弦楽のための高梁川
 ベートーヴェン/交響曲第5番ハ長調「運命」

S59.12.2

倉敷第九演奏会〔第10回定期演奏会〕

指揮/堤 俊作
 ベートーヴェン/「レオノーレ」序曲第3番
 交響曲第9番二短調「合唱付」

S60.6.1

第11回定期演奏会

指揮/金 洪才 トランペット/津堅 直弘
 ドビュッシー/小組曲
 フンメル/トランペット協奏曲変ホ長調
 プラームス/交響曲第2番二長調

History of Concert

Kurashiki Orchestra Regular Concert 28th

主な演奏会記録

S.60.9.16

玉島ライオンズクラブ30周年記念演奏会

指揮/菊池 東 ピアノ/菅我 厚子

モーツァルト/「フィガロの結婚」序曲
ショパン/ピアノ協奏曲第1番 短調
チャイコフスキー/「白鳥の湖」(抜粋)

S.60.11.14 S.60.12.1

二期会中国支部オペラ公演

指揮/岡田 司
モーツァルト/「コシ・ファン・トゥッテ」

S.61.6.1

第12回定期演奏会

指揮/佐渡 裕 ヴァイオリン/守屋 美枝子

ヴィオラ/江島 幹雄
シベリウス/組曲「カレリア」
モーツァルト/協奏交響曲変ホ長調
メンデルスゾーン/交響曲第3番 短調「スコットランド」

S.61.12.14 S.61.12.25

第九演奏会

指揮/森 正
ベートーヴェン/交響曲第9番 短調「合唱付」

S.62.6.7

第13回定期演奏会

指揮/佐渡 裕
モーツァルト/交響曲第35番 長調「ハフナー」
ブラームス/交響曲第1番 短調

S.62.9.13

ゴールドブレンドコンサート

指揮/石丸 寛 ヴァイオリン/塩川 悠子
ベートーヴェン/「エグモント」序曲
交響曲第8番 長調
ヴァイオリン協奏曲 長調

S.62.11.3 S.62.11.29

二期会中国支部オペラ公演

指揮/星出 豊
ビゼー/「カルメン」

S.63.3.20

倉敷音楽祭前夜祭

指揮/菊池 東
小六禮次郎/交響詩「瀬戸内賛歌」

S.63.6.5

第14回定期演奏会

指揮/古谷 誠一 ヴァイオリン/景山 誠治
モーツァルト/「ドン・ジョバンニ」序曲
チャイコフスキー/ヴァイオリン協奏曲 長調
交響曲第4番 短調

H.1.6.4

第15回定期演奏会

指揮/星出 豊
ヴェルディ/「ナブッコ」序曲
ヘンデル/水上の音楽(抜粋)
ブラームス/交響曲第4番 短調

H.1.11.11 H.1.11.12

二期会中国支部オペラ公演

指揮/松井 和彦
J.シュトラウスII/「こもり」

H.2.3.10

坂出口・タリーコンサート

指揮/菊池 東
J.シュトラウスII/「こもり」序曲
ヴィヴァルディ/協奏曲集「四季」より「春」
ベートーヴェン/交響曲第6番 長調「田園」

H.2.6.3

第16回定期演奏会

指揮/田中 一嘉 ピアノ/伊藤 恵
メンデルスゾーン/序曲「フィガロの洞窟」
ベートーヴェン/
ピアノ協奏曲第5番 変ホ長調「皇帝」
交響曲第6番 長調「田園」

H.2.9.17

三枝成彰with倉敷管弦楽団

スーパードリーム・ジョイントコンサート

指揮/国分 誠 ピアノ/岡崎 由美
チェロ/堀了介 ギター/山下 和仁
三枝成彰/「優駿」より「誕生」
プロヴァンス 組曲より「動乱」

H.3.6.2

第17回定期演奏会

指揮/田中 良和 チェロ/岩崎 洸
ロッシニ/「セヴィリアの理髪師」序曲
ドボルザーク/チェロ協奏曲 短調
チャイコフスキー/交響曲第6番 短調「悲愴」

H.3.10.6

中国二期会オペラ公演

指揮/中村 健
フンバーディング/「ヘンゼルとグレーテル」

H.4.3.19 H.4.3.26

第8回倉敷音楽祭前夜祭

指揮/菊池 東
青島広志/ミュージカル「11匹のネコ」

H.4.5.31

第18回定期演奏会

指揮/小出 雄聖 ギター/福田 進一
ビゼー/組曲「カルメン」より
ロドリゴ/アランフェス協奏曲
シベリウス/交響曲第2番 長調

H.4.9.5 H.4.9.6

福山市芸術祭オペラ公演

指揮/牧村 邦彦
プッチーニ/「蝶々夫人」

H.5.3.20

第7回倉敷音楽祭オープニングコンサート

指揮/菊池 東
チャイコフスキー/幻想序曲「ロメオとジュリエット」
ショスタコヴィッチ/オラトリオ「森の歌」

H.5.6.6

第19回定期演奏会

指揮/増井 信貴 ピアノ/伊藤 恵
チャイコフスキー/幻想序曲「ロメオとジュリエット」
ベートーヴェン/ピアノ協奏曲第4番 長調
ブラームス/交響曲第3番 長調

H.5.9.23

くらしきコンサート10周年記念

「オーケストラが出来た」

指揮/山本 直純
倉敷管弦楽団・岡山交響楽団・岡山大学交響楽団・
川崎医科大学管弦楽団・ノートルダム清心女子大学
オーケストラ等の団員有志、その他多数の個人参加に
よる混成オーケストラ
ブラームス/交響曲第2番 長調
グラスノフ/ヴァイオリン協奏曲 短調
エルガー/「威風堂々」第1番 他

H.5.11.27~28

倉敷管弦楽団特別演奏会

〔芸文館開館記念事業〕

指揮/菊池 東 ヴァイオリン/漆原 啓子
グリンカ/「ルスランとリュドミラ」序曲
ブルッフ/ヴァイオリン協奏曲第1番 短調
ドボルザーク/交響曲第9番 短調「新世界より」

H.6.1.9 H.6.1.5

中国二期会20周年記念ガラコンサート

指揮/山上 純司

H.6.3.19

第8回倉敷音楽祭前夜祭

指揮/菊池 東
ミュージックフェスティバル「アジア・太平洋の仲間たち」

H.6.6.5

第20回定期演奏会

指揮/金 洪才 ホルン/松崎 裕
ブラームス/大学祝典序曲
R.シュトラウス/ホルン協奏曲第1番 変ホ長調
ショスタコヴィッチ/交響曲第5番 短調

H6.11.12 H.6.11.13

中国二期会オペラ公演

指揮/時任 康文
モーツァルト/「魔笛」

H.6.12.18

コンチェルトの夕べ

〔倉敷管弦楽団20周年記念〕
指揮/飯森 範親
ヴァイオリン/イヴリー・ギトリス
チェロ/岩崎 洸
モーツァルト/「魔笛」序曲
ボッパール/ハンガリア狂詩曲
ブラームス/ヴァイオリンとチェロの為の協奏曲 短調

H.7.3.18

第9回倉敷音楽祭オープニングコンサート

指揮/菊池 東
ヘンデル/オラトリオ「メサイア」

H.7.6.4

第21回定期演奏会

指揮/金 洪才 ピアノ/花房 晴美
ボロディン/「イーゴリ公」よりダッタン人のおどり
ラフマニノフ/ピアノ協奏曲第2番 短調
チャイコフスキー/交響曲第5番 短調

H.7.12.9 H.7.12.10

中国二期会ふくやまオペラ公演

指揮/山上 純司
J.シュトラウスII/「こもり」

H.8.3.17 H.8.3.23

第10回倉敷音楽祭オープニングコンサート

指揮/竹本 洋、菊池 東
中村直樹/ミュージカル「坂道は風の通り道」

H.8.5.26

第22回定期演奏会

指揮/金 洪才 琵琶/陶 敬穎
バーバー/弦楽のためのアダージョ
呉祖強・王燕樵・刘徳海/琵琶協奏曲「草原小姐妹」
ペリリオス/幻想交響曲 長調

H.8.9.1

横山恵子&リヒャルト・ブルンナー

〜アリア名曲集を歌う〜
指揮/菊池 東 ソプラノ/横山恵子
テノール/リヒャルト・ブルンナー
モーツァルト、ヴェルディ、プッチーニ等のアリアガラコンサート

コンチェルトの夕べ(H.8.11.17)

指揮/菊池 東 ピアノ/黒江 偉代
チェロ/三船 文彰
シューマン/ピアノ協奏曲 短調
ラロ/チェロ協奏曲 短調

H.9.3.15 H.9.3.16

第11回倉敷音楽祭

指揮/山上 純司
プッチーニ/「ラ・ボエーム」

H.9.5.25

第23回定期演奏会

指揮/小野田宏之 オーボエ/茂木 大輔
モーツァルト/交響曲第39番 変ホ長調
オーボエ協奏曲 長調
ムソルグスキー・ラヴェル/組曲「展覧会の絵」

H.10.3.14 H.10.3.15

第12回倉敷音楽祭

指揮/菊池 東
青山広志/ミュージカル「温羅と桃太郎」

H.10.5.31

第24回定期演奏会

指揮/金 洪才 ヴァイオリン/天満 敦子
ウェーバー/「オベロン」序曲
シベリウス/ヴァイオリン協奏曲 短調
ブルックナー/交響曲第4番 長調「ロマンティック」

H.10.9.23

岡山県アマチュアオーケストラフェスティバル

指揮/田中 一嘉
ワグナー/「ニュルンベルクのマイスタージンガー」序曲
レスピーギ/交響詩「ローマの松」
ブラームス/交響曲第1番 短調

H.11.5.30

第25回定期演奏会

指揮/増井 信貴 ピアノ/若林 頌
ブラームス/ピアノ協奏曲第2番
ラフマニノフ/交響曲第2番

H.11.9.25

名月観賞会オーケストラの夕べin後楽園

指揮/菊池 東
ジョン・ウィリアムズ スターウォーズ組曲 ほか

H.11.12.26

1999第九コンサートin倉敷

指揮/田中 一嘉
ベートーヴェン/エグモント序曲
交響曲第9番「合唱付」

H.12.5.28

第26回定期演奏会

指揮/増井 信貴
プロコフィエフ/交響曲第1番「古典」
リスト/交響詩「前奏曲」
ブラームス/交響曲第2番

H.12.10.18

DAN YEAR 2000参加公演

指揮/菊池 東
團 伊玖磨 管弦楽のための祝典曲
團 伊玖磨 管弦楽のための高梁川
ベートーヴェン 交響曲第5番「運命」

H.13.5.27

第27回定期演奏会

指揮/田中 良和 ピアノ/有森 博
ドヴォルザーク/序曲「樹肉祭」
ラフマニノフ/ピアノ協奏曲第3番
シベリウス/交響曲第1番

H.13.10.20

協奏曲の楽しみⅡ

指揮/菊池 東
ピアノ/蔡 佩真
チェロ/三船 文彰
ヴァイオリン/久保 陽子
ラフマニノフ/バガニエーニの主題による狂詩曲
サンサーンス/チェロ協奏曲第1番
ヴァイオリン協奏曲第3番
序曲とロンドカプリチオーソ

H.13.12.2

2001第九コンサートin倉敷

指揮/田中 一嘉
モーツァルト/序曲「後宮よりの逃走」
ベートーヴェン/交響曲第9番「合唱付」

H.14.3.17

オペラ「夕鶴」公演

〔第16回倉敷音楽祭〕

團 伊玖磨 夕鶴
指揮/菊池 東